

週間感染症情報

2020年49-50週 2020年11月30日より2020年12月13日まで

49週 50週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	2	
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症		1
手足口病	3	5
ヘルパンギーナ	2	
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	18	13
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	1	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	2	1
ヘルペス性口内炎	0	1
アデノウイルス感染症	2	1
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症		
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ(臨床診断含む)		
インフルエンザA		
インフルエンザB		

49-50週の報告です。寒くなりましたが小児の感染症の報告は少なく、小児科外来は閑散としています。

左下のグラフのように、今シーズンは、市内の先生方からのインフルエンザの報告はありません。先シーズンは49週よりA型の報告数が増加し50週は186例の報告がありました。今年はコロナの感染予防対策で、小児の感染症が大きく減少しています。季節が逆の南半球の国でも、コロナは流行しましたが、インフルエンザの流行はありませんでした。

右下のグラフは、岡山県の週別コロナの報告数です。10月終わりより、報告数は増加して50週は121例でした。

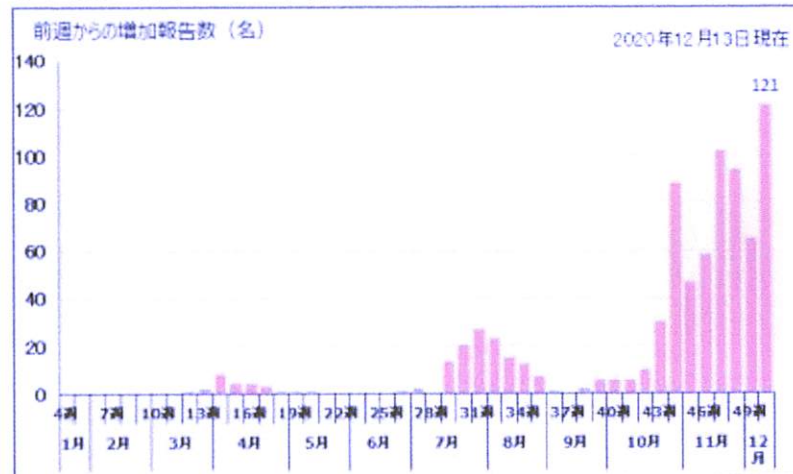
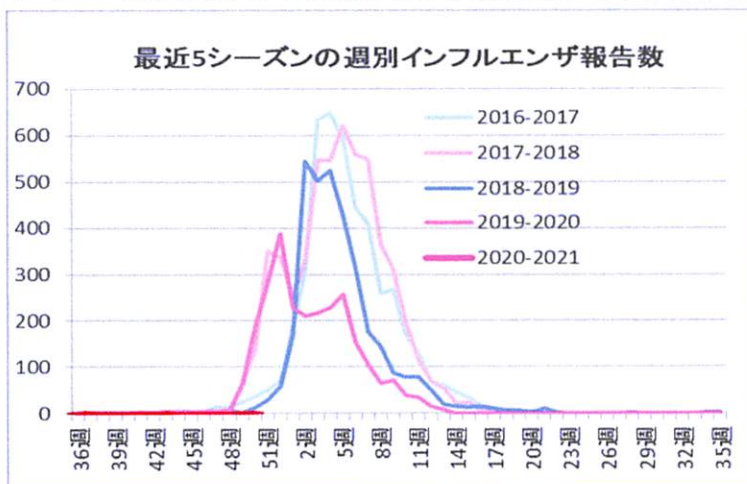
インフルエンザと異なり、**コロナは発症する前から発症始めが感染力が強いことがわかっています。感染者の45%が無症状者からの感染です。症状がなくてもウイルスを持っていると考えて行動することが大切です。**

大人が家庭にウイルスを持ち帰り、家族内感染を起こしています。小児では症状が軽く、多くが家族内感染です。

インフルエンザと異なり、小児集団でのクラスターはまれです。現在の状況では休校処置などは必要ありません。

三密をさけて、手洗い、マスクの着用、体調不良の場合は休むなど、今まで通りの予防対策を続けましょう。

ウイルスは人を介して移動します。残念ながら、しばらくは多人数が集まるとの会食や旅行などはできませんね。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)

三宅内科小児科医院 三宅真砂子